

特集

拡がる看護研究の未来

1 看護系の学術関連分野の広がり現状・今後の展望 川口孝泰

2 看護研究の展開への期待と展望—主要学協議会の取り組みから

上泉和子／小松浩子／宮腰由紀子／真田弘美，川口孝泰

3 量的研究と質的研究を中心とする看護学の歩みと展開

3-1 量的研究を中心に 牧本清子

3-2 質的研究を中心に

質的研究の進化と看護の独自性の立ち位置 西村ユミ

現象学的研究と看護研究 村上優子，西村ユミ

特別記事●共著者ネットワーク分析による看護学の動向 今井哲郎，川口孝泰

連載●集まる つながる 広がる—若手研究者のバトン・9 水野恵理子

編集協力者

阿曾洋子／井上智子／井部俊子／太田喜久子／岡谷恵子／片田範子／金井 Pak 雅子／上泉和子／
萱間真美／川口孝泰／河口てる子／グレッグ美鈴／黒田裕子／小松浩子／坂下玲子／真田弘美／
筒井真優美／水流聡子／西村ユミ／野嶋佐由美／早川和生／舟島なをみ／正木治恵／村嶋幸代／
森 恵美／安酸史子／山田雅子／山本則子 (五十音順)

編集後記

●概念という言葉は日常よく用いられますが、本当の意味を
考えようとなると難しいものですね。本特集で、坂下先生が
概念に対する苦手意識をアジア人の特性に由来するものとさ
れていて、ハッとしました。先生は以前から、概念構築の重
要性を強調されると同時にその難しさを指摘されています
が、これは、山本則子先生(東大)が開発された「ケアの意味
を見つめる事例研究」において、事例の振り返りや問われ語

りの中から、後に事例研究論文のカテゴリを形成する
「キャッチコピー」や「小見出し・大見出し」をつくっていく過
程と通底するものがあるように感じます。そして、研究に
とって極めて重要となるこのプロセスが、実はいざ論文と
なったときにはなかなか目に見えにくい部分であることを、
本特集から改めて実感しました。そのあたりをぜひ雑誌でカ
バーできたらと思い、その方法を考え続けています。(小長谷)

看護研究 第52巻 第6号(通巻290号) 2019年10月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原 俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売・PR部(03)3817-5659 社内案内(03)3817-5600 医学書院
ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp> 〔看護研究〕編集室：(03)3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当／小長谷・近江

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2019, Printed in Japan

1部定価2,000円＋税 2019年年間購読料(いずれも＋税、送料弊社負担、増刊号を含む年7冊)：冊子版12,060円 冊子＋電子版／個人15,060円 電子版／
個人12,060円 〈学割年間購読料〉冊子版9,720円 冊子＋電子版／個人12,720円 電子版／個人9,720円

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複
製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診
療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当
せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

〔JCOPY〕(出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。